



あかまつ

令和5年度

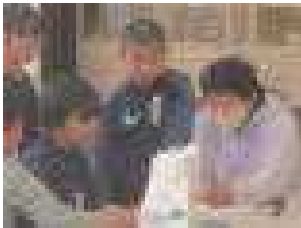
第31号

令和5年10月18日

《学校教育目標》 夢に向かって 本気で チャレンジ! 笑顔の花さく 南っ子

ミシンボランティアの皆様に感謝!!

17日(火) 5・6年生



昨年度より、「学校に地域の力を 学校が地域の力に」を合い言葉に、太田地区のコミュニティ・スクール(CS)が始まっています。

17日(火)、家庭科のミシンの先生として〇〇〇〇さん(〇〇〇〇)と〇〇〇〇さん(〇〇〇〇)にCSボランティアとしてご来校いただき、6年生のトートバッグ作りと5年生の初めてミシン体験をサポートしていただきました。

ミシンの扱いは簡単そうに見えてなかなか大変です。ミシンを初めて扱う子にとっては一旦つまずきが始まると、助けを求めたくなります。クラスに通常は担任一人しかいないので、ミシンの上糸をかける順番や糸が絡まった時の対処法などの対応に追われてしまうことがあります。でも、ミシンの扱い方に慣れておられる方々が、子どもたちのそばにいましたので、とても安心でした。子どもたちにとっても担任にとっても、ありがたいサポートです。「感謝」という言葉しか思い浮かびません。本当にありがとうございました。



横沢曲がりねぎの収穫

18日(水) 4年生

農家の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、農業振興情報センター職員の方々のご指導のもと、4年生が「横沢曲がりねぎ」の収穫作業を行いました。順調に育っていたねぎは、夏の猛暑で少し元気がなくなったようで心配していましたが、今日無事に収穫の日を迎えることができました。

収穫の仕方を〇〇〇〇さんから教わったあとは、自分たちの番です。自分の方に優しく倒すように収穫すると、「根元がほんとに曲がってる」という声。収穫の手応えや黄色くなった葉を取り除いたり、薄い皮を剥いだりしたときの香りや白さは、実際にやってみただからこそ味わえる貴重な体験です。

横沢曲がりねぎは地域の宝です。その曲がりねぎを守り育てているこの活動ですが、改めて今年度の太田中学校区のコミュニティ・スクールの合い言葉「地域が学校の力に 学校が地域の力に」をかみしめているところです。

収穫したねぎは、20日(金)の全校なべこの時にみんないただきます。

